護己己素的非業務小日益隆昌言の己至幸的 お 名中 의 榮冠을 獲得 かそみを全る 顧客各 位의深厚回同情是賜言結果己の豆

仁川府海岸町三丁目

今後一層動勉하以外又り

謝禮無怨望するけ

新

田

電

話

長長 四二

四〇

自宅仁川山手町二丁目

五

五

六

略(三)又ハ

(カホタ)

謝 禮

謹啟弊店や大正十 誠心誠意로 貴客本位로州 司開業可作爾來日淺月薄宮是不拘引五 額客諸賢의 多大 で 庇 一年四月一 勉勵 日早

號七	中 五 胃	八 第	報 日	無	- 199	<u> </u>	十正大 (可忍物更够重	
佛白大使對獨通牒 (伯林十二日發電) 伯林駐紮鄉、白大公使士獨逸外相可佛、白政府上門中可地方官母取出手段中官女石技學以為州一三層理斗政治的意味可軍港行動可有社意专通牒部次中日中上聲明 城市軍港行動可有社意专通牒部次中日中	一日 成	佛工工作 (伯・十三日 数) (伯・十三日 数) 佛白兩國軍の十一日午前十時間が他」会占領からいてと日 佛白八千 의 将士 3 次 2 出 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1	學校教員を一、小 の 中 版東の 滞在 市 日 み 司 中 教育 当 二種 の 全 中 関南方の 旅行 望 司 の 日 必 是 香 全 民國 十 一 年 早 町 』 氏 ル 十 四 日 病 氣 都 養 き 偽 す こ	(泰天倩報) 泰大省教育廳老最 項規定及施行細則や別工此等規定を一大。學制改定 細立規定を行すめ五但右舉制引各可述來並陳烱明等假陳烱明の라可己 和主旨方法修業年限等の對하。詳行述來並陳烱明等假陳烱明の라可己 和主自方法修業年限等の對하。詳行述來並陳烱明等假陳烱明の라可己 和主自方法修業年限等の對하。詳行。	行か五今後地方の匪賊の外陷落耳を事外有許思該地方官の責任者階 から 上 作 家 上 匪 討 伐 方 略 『 本 上 匪 討 伐 方 略 『 本 上 匪 討 伐 方 略 『 本 上 匪 討 伐 方 略 『 本 上 匪 計 伐 方 略 『 本 上 匪 計 伐 方 略 『 本 上 匪 計 伐 方 略	我 兵 案 閣 議 通過 過 スター 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1	(北京十二日發電) 交通部軍用野便電信料司加納者政治社結果是 (伯林十二日發電) 海邊是正延氏司辭職 4許嫡司司後任4程 獨逸大統領化京十二日發電) 司法總是王正延氏司辭職 4許嫡司司後任4程 獨逸大統領民工任命司共5日 市協定 和目再次協議 (北京十二日發電) 司法總是王正延氏司辭職 4許嫡司司後任4程 獨逸大統領民工任命司共5日 市協定 可法總是王正延氏司辭職 4許嫡司司後任4程 獨逸大統領民工任命司共5日 市協定 可法總是王正延氏司辭職 4許嫡司司後任4程 獨逸大統領民工任命司共5日 東海區 一個 大統領 一個 大人 (北京十二日發電) 亞波勒是王正延氏司辭職 4許嫡司司 4 會職地 (北京十二日發電) 安通部軍用野便電信料司加納者政治技統文統主義第四 5 中協定 一個 大人 (北京十二日發電) 安通部軍用野便電信料司加納者政治技統文統主義第四 5 中協定 一個 大人 (北京十二日發電) 安通部軍用野便電信料司加納者政治技統文統主義第四 5 中協定 1 年 大人 (北京十二日發電) 安通部軍用軍人 (北京十二日發電) 安通部軍人 (北京十二日發電) 安通部 1 年 大人 (北京十二日發電) 東海東京 1 年 大人 (北京十二日登電) 東海東京 1 年 大人 (北京中) 1 年 1 年 1 年 1 年 1 年 1 年 1 年 1 年 1 年 1	世事 校 体 様 慎 ッ 低
	「一、南洋群島裁判事務取扱令外八 六八五、六五〇厘の日製造者一人 要計 「東京電」 日本定例閣議を十二 造者一六人) 仁川六、四三大、三五 自中、 (東京電) 日本定例閣議を十二 造者一六人) 小原一二〇、六二一 三萬 一、 南洋群島裁判事務取扱令外八 六八五、 六五〇厘の 日製造者 一人 要計 一、 南洋群島裁判事務取扱令外八 六八五、 六五〇厘の 日製造者 一人 要計 一、 南洋群島裁判事務取扱令外八 六八五、 六五〇厘の 日製造者 一人 大五〇厘の 日製造者 一人 大五〇厘の 日本の 一人 大五〇厘の 一人 大五〇厘の 日本の 一人 大五〇厘の 日本の 一人 大五〇厘の 日本の 一人 大五〇厘の 日本の 一人 大五〇厘の 一人 十二〇厘の 一人 大五〇厘の 一人 十五〇厘の 一人 十五〇厘の 一人 大五〇厘の 一人 大五〇厘の 一人 十五〇厘の 一人 十五〇厘の	中学 (東京電) 日本院哈姆州派遣軍ニュ政府三上奏하中櫃府町や釋明維部内町を既可可港駐屯部隊の大衛門減速を入行を際の陸軍が対耳火中の側外交渉を結盟、大路の整理の案や不遠間承認하や町中や山東鑛山舎社と日本側代表 霊野・神殿・中野東九郎氏・中側側外交渉を結盟、十十日大台、東京電)日本院哈姆州派遣軍ニュ政府三上奏하中櫃府町や料理・中村の東京地の第一十一中村の側外交渉を結盟、十十十五十十五十十五十二十十五十二十十五十二十十五十二十十五十二十十五十二十	正生社会、治少 一つ相違小有可以上中政府や此可對於的營業者可以上即通訊二十歲壯丁徵兵檢查者十八日里中司二十八個度者廣施可以是可止滿二十歲壯丁徵兵檢查者十八日里中司二十日以不可致意者十日可發表可以以可 共 制 度 實 施	中露銀行支店閉鎖命令 學歷明之外可是條約者被計五日國際法司造及計學中五指摘計學中公文內容者發表外學中目獨通可有公义等佛國司中國的一十一點銀行學被計及內容者發表外與國際法司造及計學中五指摘計學學歷報報,	年 一	東國商務省發表寺據社会一九八八八八八八八八八八八八八八八八八八八八八八八八八八八八八八八八八八八八	古 () 四 ()	海大使九海道は、 一年の一使入の對かい 一年の一使入の對かい 一年の一度に一次 一年の一度に一次 一年の一度に一次 一年の一度に一次 一年の一度に一次 一年の一度に一次 一年の一度に一次 一年でもいるのでは、 一年では、 一をは、 一をは、 一をは、 一をは、 一をは、 一をは、 一をは、 一をは、 一をは、 一をは、 一をは、 一をは、
本元 (国軍位) 該議員の任期水滿了も故是改選者 2、12、25 大元 (14、大元) 人元 (14、大元) 人元 (14、大元) 人元 (14、大元) 人元 (14	本年上の日本の日本 田田 (1) (1) (1) (2) (2) (3) (4) (4) (4) (4) (4) (4) (4) (4) (4) (4	二〇二、「四六」の中今番의財團を各体が宋寺男共 一〇二、「四六」の中今番의財團を各体が宋寺男共 一〇二、「四六」の中今番의財團を各体が宋寺男共 一〇二、「四二、「一一」 明法人の中省を少す中三過去十年 村 五八五、△ 一八 数斗日本神佛道의模様す登場の呈 一七二、「七二 財外の豊麗社各寺刹의熱烈寺眞의 一七二、「七二 財外の豊麗社各寺刹의熱烈寺眞의 一七二、「一十」 明明の在社寺苦経験の依ず中洗練刊 大区 四五〇、四五〇 切의可能性者持色和中宮山 一十一、「一一」 十二 財外の豊麗社外中の日此點の願可成 一七二、「一十一」 十二 財外の豊麗社外中の日此點の願可成 一七二、「一十一」 十二 財外の豊麗社各寺刹의熱烈寺眞의 一十二 十二 村田 明明在社寺苦経験の依ず中洗練刊 一十二 十二 村田 明明 在社寺 古野山 中 一 一 一 一 一 一 一 一 一 一 一 一 一 一 一 一 一 一	臣 1、○○四、 七五六 三十本山ョ聯合으로組合中如彰及 一、公司是減少臺示書) 三彼斗此之時代至異的可主旨至異 一、《△司是減少臺示書) 三彼斗此之時代至異的可主旨至異 一、以可也各品の皆幾分間川廻針 하工斗世間の月之此日甚是是 一、以可也各品の皆幾分間川廻針 中工斗世間の月之中,即在一个人工,以可也不是一个人工,以可也不是一个人工,一个人工,是一个人工,是一个人工,是一个人工,是一个人工,是一个人工,是一个人工,一个人工,一个一个工,是一个工工,是一个工工,是一个一个工,是一个人工,是一个人工,是一个工工,是一个人工,是一个工工,是一个工工,是一个工工,是一个工工,是一个工工,是一个工工,是一个一个工工,是一个工工工,是一个工工工,是一个工工工,是一个工工工,是一个工工工工工工,是一个工工工工工,是一个工工工工工工工工工工	1 大型	本教、LLAT LL TU とのようにようでは、	一大 一大 一大 一大 一大 一大 一大 一大 一大 一大	一次 一次 一次 一次 一次 一次 一次 一次	本では、
野府町 月や十三 1 年	上 木 會 議 開 催	間新 1三、10 四大、10 四大、10 元、七0 元六、七0 元六、七0 元六、七0 元六、七0 元六、七0 三六、四0 三六、二0 四六、10 四十四、10 回升、10 回升,10 回升,	一月十三日前場 一月十三日前場 10八七0 10七五7 八七九0 八六九0 八七九0 八六九0 八七九0 八六九0	・ 第三十三期營業報告書貸借對 ト 「又 よ 」 「 」 」 「 」 」 「 」 」 「 」 」 「 」 」 「 」 」 」 「 」 「 」 」 「 」	商業銀總會	・二萬五千九百五十一國。皇此七日朝鮮教育分司朝鮮の各高等政士司八十二萬五千九百五十一國。皇流計五 以中以上の外別、本中學校の監進が中入學士一二百八十六國、昨年十二月分 及在之場、學校の監進が中入學士十二百八十六國、昨年十二月分 及在之場、學校の監進が中入學士十二百八十六國、昨年十二月分 及在之場、學校の監進が中入學士十二百八十六國、昨年十二月分 及在之場、學校の監進が中入學士十二萬五千大百九十國。皇流計五 以中以別年條業生の將次各高等政士司八十二萬五千大百九十國の皇流計五 以中以別年條業生の將次各高等政士司八十二萬五千九百九十國の皇流計五 以中以別年後十五十四十五十五十四十五十五十四十五十五十五十五十五十五十五十五十五十五十五十	元英五千八十八四、治計五百 殿の十入県試験を限制で海道中で大手四百七十四回、返信蔵出 リオ牛別の中央が開発を開かる大手四百七十四回、返信蔵出 リオ牛別の中央が開発を開かる大手四百七十四回、返信蔵出 リオー国 地方当次良資展を開かる大手の一十四、外国為行一千 智をから 1 本の特別の日本教育を開かる大手の一十四、外国為行一千 智をから 1 本の特別の日本教育を開かる大手の一十四回、外国為行一千 智をから 1 本の特別の日本教育を開かる大手の一個、返信蔵出 リオー関 地方当次良資展を開かる大手目を課して、一個、接待貯金四百九十一個 地方当次良資展を開かる大手の一個、近年では、返信蔵人十八萬政上の繁切がよりせ及の12十5日 111111111111111111111111111111111111	十九四、提一貯金二十三萬八 謙演三里年中一日中三現在地方行 一十四四、郭便貯金七萬七千二 皇
はいる。 一般一口里先限4二十二一級の 一般一口里先取4二十二一級の 一般一口里先取4二十二一級の 一般一口里先取4二十二一級の 一般一口里先取4二十二一級の 一般一口里先取4二十二一級の 一般一口里先取4二十二一級の 一般一口里先取4二十二一級の 一般一口里先取4二十二一級の 一般一口里先取4二十二一級の 一般一口里先取4二十二一級の 一般一口里先取4二十二一級の 一般一口里先取4二十二一級の 一般一口里先取4二十二一級の 一般一口里先取4二十二一級の 一般一口里先取4二十二一級の 一般一口里先取4二十二一級の 一般一口里先取4二十二一級の 一般一口里在第二十二一級の 一個一口里在第二十二一級の 一個一口里在第二十二一級の 一個一口里在第二十二一級の 一個一口里在第二十二一級の 一個一口里在第二十二一級の 一個一口里在第二十二一級の 一個一口里在第二十二一一。 一個一口里在第二十二一一。 一個一口里在第二十二一一。 一個一口里在第二十二一一。 一個一口里在第二十二一一。 一個一口里在第二十二一一。 一個一口里在第二十二一一。 一個一口里在第二十二一一。 一個一口里在第二十二一一。 一個一口里在第二十二一一。 一個一口里在第二十二一一一。 一個一口里在第二十二一一一。 一個一口里在第二十二一一一。 一個一口里在第二十二一一一。 一個一口里在第二十二一一一一一一一一一一一一一一一一一一一一一一一一一一一一一一一一一一一	中央	中央 (1) (1) (1) (2) (2) (3) (4) (4) (4) (4) (4) (4) (4) (4) (4) (4	○一錢可初付亦。反價可資押。亦作八十七錢中以及以落。明之 「一段、中等外突然反應可。中一一一一一一一一一一一一一一一一一一一一一一一一一一一一一一一一一一一一	即 阪地後報八十七錢・豆 一三側や水下落・曳みから 一三側や水下落・曳みから たに引きる 一三側や水下落・曳みから 一三側や水下落・曳みから 一二側や水下落・曳みから 一二側や水下落・曳みから 同 男 にかり	○ 秦野仲吳店 問九十四錢可意外低價立時止價보 中九丁低司初付可中 中九丁低司初付可中 中九丁低司初付可中	サー節 根板 高	一月十三日前場 ・ は 三番 リョ 世 ・ の で ・ の で の で の で の で の で の で の で の で	時途之是用何如 (騰落頻飜) (騰落頻飜) (騰落頻飜) (騰落頻飜) (騰落頻飜) (騰落頻飜) (廣落頻飜) (廣落頻飜) (廣落頻飜) (廣落頻飜) (廣落頻飜) (廣落頻飜)
	海 中 無 朝 海 海 新 報 報 新 新 報 数 数 数 数 数 数 数 数 数 数 数 数 数 数	中 中 中 中 中 中 中 中 中 中 市 價 (1)	N		生庫約五彩花頭三十方同全金花頭三十方同全金花頭三十方同中金花頭三十方同中金花頭三十方同中金花頭三十方同中金花頭三十方同中金花頭三十方	三端 正牌 甲砂 三六 四間 と 中僧上 上 中僧 門	是一个是几 是一个是几 是一个是几 是一个是一个是一个是一个是一个是一个是一个是一个是一个是一个是一个是一个是一个一个是一个	すが 十十十二十二十十二十十十二十十二十十二十十二十十二十二十二十二十二十二十二十

